

環境マネジメントシステム導入報告書

| | |
|------------------------|---|
| (宛先) 京都府知事 | 2025年 7月 30日 |
| 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） | 氏名（法人にあつては、名称及び代表者名） |
| 京都府長岡京市神足焼町1番地 | ヌヴォンテクノロジージャパン（株） 代表取締役社長 吳 孟奇 電話番号：050-3783-6265 |

| | |
|--|---|
| 環境マネジメントシステムの名称 | ISO14001 |
| 適用範囲 | ヌヴォンテクノロジージャパン株式会社 1) 開発拠点：長岡京、魚津 2) 営業拠点：長岡京、新横浜 3) 支援拠点：長岡京、新井、魚津 |
| 導入年月日 | 2009年 10月 9日 |
| 認証番号 | JQA-EM6421 |
| 基本方針 | 活動（開発・製造・販売）、製品、サービスにおいて「顧客満足度向上」、「地球環境との共存、汚染の予防等を含む環境保護」及び「安全快適職場作りと負傷や疾病の予防」を実現するために、各人・各部門が役割を認識し、継続的な改善を行います。 2. 品質・環境・労働安全衛生に関連する法律・条例、社会的要求及び顧客要求の合意事項を順守します。 3. マネジメントシステムの有効な活用により、経営の継続的な改善を図ります。 |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | 環境リスク事故ゼロ推進や環境配慮型製品の創出により、顧客や社会への環境貢献を図り環境経営貢献度を高める。 |
| 目標を達成するための取組の内容 | 1) 地球温暖化防止活動の推進 2) 環境リスク未然防止 環境リスク事故ゼロ推進 自然災害アセスメントの強化 3) 3R (Reduce、Reuse、Recycle) 取組みの強化 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | ・CO2排出量原単位改善：CO2削減取組推進中 ※CO2排出量の管理_エコシステムによるCO2排出量管理の継続実施中 ※コージェネレーションシステム 出力調整に伴うCO2削減 ・環境リスク事故発生件数：法定点検、自主点検、アセスメントを実施し事故発生なし ・廃棄物処理委託会社立ち入り確認予定 ・排出物削減：排出物の有価物化推進中 |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 上記の取組内容により、計画を推進中 |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 事業活動に係る法令等の一覧表を作成し、法に逸脱しないように毎年の見直しと毎月順守評価を実施している。 これまで違反はなし。 |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | ・2024年度JQA審査でシステムが有効に機能していると評価を頂いている。 ・ISOの適合状態の審査を9月に受審予定。 ・マネジメントマニュアル改正及び関連する規定書の改正実施 |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。